



タグとラグビーボールを追って駆け回る子どもたち

ラグビー体験に汗流す

タグラグビー体験教室

タグラグビー体験教室が7月10日、市ラグビー場で開催されました。

タグラグビーとは、腰に付けたタグの奪取がタックルとみなされる子どもでも安全に楽しめるスポーツです。当日は、15人の市内児童が参加。講師の県ラグビーフットボール協会会員ら指導の下、タグラグビーに親しまいました。山本宇宙君(田山小4年)は「学校の授業でやったことはあったけど、もっと本格的にやってみたい」と意欲を示しました。

広場に響く歌声と歓声

第28回大更ガーデンフェスティバル

第28回大更ガーデンフェスティバルが7月9日、フーガの広場で開催されました。イベントのひとつ、ちびっ子カラオケ大会では、小学生から高校生までの12組(29人)が参加。平館高3年の伊藤文太さんが優勝を飾りました。高校の友人と組んだバンドでボーカルを担当している文太さんは、人前が苦手なためにも慣れるために出場を決意したとのこと。多くの人で溢れる会場で堂々とその歌声を響かせ会場を沸かせました。



THE YELLOW MONKEYのSPARKを熱唱する伊藤文太さん

神社の土俵で相撲勝負

第36回市立大更小学校育成会奉納相撲大会

第36回市立大更小学校育成会奉納相撲大会が7月15日、八坂神社境内相撲場で行われました。

大会には、大更小4年から6年生の児童108人が出場。熱戦が繰り広げられ、会場は盛り上がりました。

なお、結果は次の通りです(●内の数字は順位)。

▶団体戦①松川A ●②下町3B ▶女子の部①石引彩菜 ●②高橋まりん ▶個人戦4年生の部①佐々木真篤 ●②岩崎結人 ▶5年生の部①佐々木蒼馬 ●②山口蓮音 ▶6年生の部①田代稀里 ●②畠山北斗



観衆も息をのむほど緊迫した団体戦決勝大将戦立ち合い

自然まるごと楽しんだ

八幡平スーパーキャンプ2016

関東圏と県内の子どもがさまざまな自然体験をしながら交流を深める八幡平スーパーキャンプが、7月24日から3泊4日の日程で開催され、11人の児童が参加しました。3日目早朝には、ルーデンス農場で牛の乳搾りやバター作り、野菜や卵の収穫を体験。採れたての素材を調理した食事に子どもたちは「普段食べているものと味が全然違う」と驚きながら満足げに食べていました。食後は広々とした農場内で動物との触れ合いや手作り遊具での遊びを楽しみました。



農場内にある手づくりのブランコで遊ぶ子どもたち

食と芸能で異文化交流

タイ国タマサート大学日本生活文化体験旅行

タイ国タマサート大学の学生・教員ら13人が、7月6日から16日までの11日間、本市に滞在し、日本の生活・文化を体験しました。訪問団は6日、市庁舎に来訪後、宿泊先のホストファミリーと対面。12日の日・タイ文化交流会では、タイと日本の郷土芸能披露や、両国の料理を紹介し合い、関係者やホストファミリーらと交流を深めました。会終盤には、さくらさんさ愛好会によるさんさ踊りの紹介があり、学生たちは見よう見まねでさんさ踊りに挑戦しました。



さんさ踊りを楽しむタマサート大の学生たち

認知症への理解深める

市認知症シンポジウム

市認知症シンポジウムが7月30日、西根地区市民センターで開催されました。

当日は、約150人の市民が参加。東八幡平病院リハビリテーション部藤原瀬津雄氏が認知症予防に関する講演を行った後、パネルディスカッションでは市内介護事業所の職員が認知症を患う高齢者の支援事例を紹介。認知症患者へのケアは地域全体で考えていかなければいけないことだと呼び掛けました。参加者は、認知症に対する正しい理解を深めていました。



認知症高齢者ケアに関する説明を行う介護サービス事業者

すなっぷギャラリー



どの種目も応援で盛り上がった市福祉運動会(7月28日、市総合運動公園体育館)



日本一の和牛産地、鹿児島県から牛37頭が市内の農家へ(7月23日、JA新しいわて和牛体格審査場)



寄木保育所の園児12人が、相撲の楽しさに触れた相撲体験(7月25日、平館高校相撲場)



かわいらしい浴衣姿の園児たちが大人用の琴を使い「さくら」を演奏(7月9日、ひなぎく幼稚園)



余興出演者や入所者など、一緒に輪になって盆踊りを楽しんだ麗峰苑夏祭り(7月27日、麗峰苑)